

教育委員会会議 平成26年10月定例会 会議録

(14:00)

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 会議録の署名者の件について

津山市教育委員会会議規則第15条2項の規定による。

4. 前会会議録の承認

全員賛成

5. 教育長等の報告

今回は該当なし

6. 議事

(1) 議案

津山市いじめ問題専門委員会規則の制定について(学校教育課)

概要説明

津山市いじめ問題対策基本方針に関わる組織である津山市いじめ問題専門委員会を設置するため、9月議会へ上程した、津山市執行機関の付属機関設置条例の一部を改正する条例が議決された。それに伴い、津山市いじめ問題専門委員会の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるため、津山市いじめ問題専門委員会規則を制定するもの。内容は資料P2~3のとおり。

津山市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱及び任命について(学校教育課)

概要説明

津山市いじめ問題対策基本方針で定められた、津山市いじめ問題対策連絡協議会について、9月議会で津山市いじめ問題対策連絡協議会条例の制定が議決された。9月24日、津山市条例30号として施行されており、同条例に基づき委員について委嘱及び任命するもの。委員氏名については資料P6のとおり。任期は平成26年11月1日から平成28年10月31日。

平成26年度津山市立図書館の休館日について(図書館)

概要説明

津山市立図書館条例施行規則第3条第2項の規定により、平成26年度の津山市立図書館の休館日を変更する。資料P7のとおり、図書館電算システムの更新による休館日の追加、アルネ・津山商業店舗棚卸日の変更による休館日の変更及び、休館日の取消しがある。利用者へは、広報誌やホームページを通じて周知する。

(2) 報告

平成25年度問題行動調査の結果について(学校教育課)

概要説明

先般、国・県において、平成25年度問題行動調査の結果について報道発表があった。これに伴い、津山市の状況を報告するもの。資料P9の暴力行為、いじめについては、1,000人当たりの認知・発生件数であり、小学校の暴力行為については、県2.1件、津山市1.8件で、平成24年度、25年度ともに県よりも低い発生率となっている。中学校においては、徐々に改善されてきてはいるが、県との差は7.3件あり、県と比較すると、ここ数年は非常に高い数値である。いじめについては、実件数では小学校35件、中学校30件が発生しており、この件数について、ほぼ7割は解消している。残り3割については、一定の解消が図られており、本人のケアのために継続的に支援を続けている状況である。いじめの内容については、冷やかし、からかい、仲間外れ、軽くぶつける、遊ぶふりをして叩く等が主なものとなっている。不登校については、先般の教育委員会で学校基本調査の結果報告の際に報告済みのため省略す

る。今後の対応として、暴力行為については、同じ生徒が何度も繰り返している事案により件数が増えているという状況があり、家庭環境、発達障害による二次障害といったことも含めて、なかなか指導が入りにくい状況があるが、関係機関と連携を取りながら、子どもの実態、課題に即した具体的な支援策を組み立て、学校全体で取り組むよう推進していく。いじめについては、津山市いじめ問題対策基本方針にもあるとおり、児童生徒のいじめ問題の防止に対する主体的な活動を推進していくため、研修会等を計画している。2点目の柱は、ネット上のいじめに対するための職員研修、児童生徒への情報モラル指導や、保護者への啓発等を行っていく。早期発見、早期解消に努め解消率100%を目指し徹底して行う。先般の新聞報道にもあったが、学校の居場所づくりと、きずなづくりについて、そういった場所を意図的に作ることも含めて学校と力を合せて取組んでいく。

平成26年度全国・県学力・学習状況調査の結果公表について（学校教育課）

概要説明

調査結果については、9月教育委員会において結果公表についてご審議頂き確認している。今回、全ての学校用と、津山市全体のまとめが出来たので報告する。津山市全体のまとめと共に、各学校の公表資料をホームページ上に公表するもの。

頑張る学校応援事業に係る優良実践校の決定について（学校教育課）

概要説明

頑張る学校応援事業について、津山市では、津山市立院庄小学校が優良実践校に決定した。決定理由は、あいさつの励行や身の回りの整頓等を重視した、きめ細かい生徒指導の徹底の取組みがあったことによる。概要は資料のとおり。

平成27年度津山市立幼稚園の保育料について（こども課）

概要説明

来年度から始まる、子ども・子育て支援新制度により、国から保育料の考え方について3点の変更点が示されている。まず1点目は、国の利用者負担の考え方が所得に応じた応能負担となること。国の示す上限額としては0円～25,700円が示されている。2点目は、教材費、施設費を保育料に加える。3点目は、多子世帯の保育料の軽減については、保護者の所得に関わらず、小学校3年生以下の最年長の子どもを第1子とカウントし、第2子は半額、第3子については無料とする。これらの国の考え方を参考にし、現行の徴収額を踏まえ、激変緩和の必要性等を考慮し、市で判断することになっている。全国的な状況は、公定価格について国が骨格しか示しておらず、また、消費税率引き上げの正式決定がなされていない中、対応はバラバラの状況である。津山市立幼稚園の保育料については、現行は一律に月額6,000円であり、平成27年度については現在の保護者負担水準と同等の保育料としたいと考えている。ただし、国の示す教材費、施設費を保育料に加えるため、現在、幼稚園が保護者から徴収している相当額800円程度を加えて、月額6,800円の保育料とし、非課税世帯については、減額した保育料としたい。理由としては、平成27年度は、市内の公立、私立幼稚園の状況が変わらないため。そして、公立幼稚園の再構築を検討しているために保護者負担の検討は保留としたいということである。この他、多子世帯の保育料の軽減についても現状どおりとしたい。現状では、幼稚園に通っている最年長の子どもを第1子とカウントし、第2子は半額、第3子については無料。市民税非課税世帯は、小学校3年生以下の最年長の子どもを第1子とカウントし、第2子は半額、第3子については無料としている。今後の予定は、「津山市立幼稚園保育料徴収条例」の一部改正条例を、平成27年3月議会に上程する。平成28年度以降の保育料及び軽減措置については、今後、他市町村の状況等も見ながら検討する予定。

7.その他

(1)各課からのお知らせ

岡山県教育関係功労者表彰について（学校教育課）

概要説明

先般、新聞報道され、次回の教育委員会で永年勤続表彰も含めて報告する予定であるが、岡山県教育関係功労者表彰で北小学校の高橋寿美指導教諭が算数の授業改革に取組み優秀教員として表彰された。

つやまげんぼ塾について（学校教育課）

概要説明

今回の国・県の学力・学習状況調査を受けて、学校教育課として7つの取組みを特化して行うが、その

一つとして、若手教員の指導力向上を目的に「つやまげんぼ塾」を10月29日から月1回程度、開催する。

全国少年少女チャレンジ創造コンテストについて（生涯学習課）

概要説明

昨年に引き続き、津山市少年少女発明クラブが11月29日、東京工業大学で開催される、全国少年少女チャレンジ創造コンテストに出場する。出場者は北陵中学校の2年生3名。内容については、からくりパフォーマンスカーを作成し、地域の特長、特産物などをPRするもの。

津山オリエンテーリング大会の開催について（スポーツ課）

概要説明

11月2日、津山陸上競技場を会場に津山オリエンテーリング大会を開催する。初級、中級、上級の3コースがあり、自然と親しみながら、健康と体力の増進、友達や家族とのふれあいを図るもの。

津山市立教育・保育施設再構築計画基本方針(案)のパブリックコメントについて（こども課）

概要説明

先月の教育委員会でご審議いただいた、津山市立教育・保育施設再構築計画基本方針(案)が、その後、政策会議、庁議において確認され、10月22日から11月21日までの1ヶ月間でパブリックコメントを実施している。こども課、各支所、ホームページから公開しており、広くご意見を募集している。

(2) 次回定例会の開催について

教育委員会会議 11月定例会を、平成26年11月25日(火)午後2時から開催。

全員賛成により決定。

(3) その他

・(こども課)

先日23日、勝北風の子こども園において、初めて開催した「津山市における就学前教育保育カリキュラム公開保育」には教育委員を始め、関係者に多数出席いただきありがとうございました。また、10月30日には、高田幼稚園において、公開保育「津山市幼児教育研究大会」を開催するのでよろしくお願ひします。

8.閉会

(15:10)